

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

輝（かがやき）

令和三年十二月議会は三回目の新型コロナウイルススワクチン接種事業を含めた補正予算や指定管理者の指定、また、追加で提出された子育て世帯への臨時特別給付金について等、合計二十件について審議し、全ての議案について会派『輝』は賛成致しました。そして、「沖繩戦戦没者の遺骨をはじめ、遺骨が混入した土砂を国内の埋立てに使用しないことを求める意見書」を発議者として提案し、全議員の賛成により可決するこ

とができました。

また、議会改革特別委員会が設置されることとなり、本市議会の在り方や改革項目等を検討する場が新たに設置されました。会派『輝』は議会改革を積極的に推し進めてきた会派として、今後も「市民の皆さんのための議会」を目指して議会改革に邁進して参ります。

会派『輝』は市民の皆さんの声を聴き、声に応え、声を行政に届け、そして、今後も真摯に議員活動に取り組んで参ります。

進藤裕之・宮小路康文
大伴 壘・富田達也

公明党

公明党は、議会定例会に提出される議案を熟読・精査しながら、事業の内容や市民生活にどのような影響を与えるのかなど、勉強会を行い、意見書の提出や一般質問という形で問題提起をしながら、住みやすい長岡京市の構築に向け臨んでいます。

十二月議会では二十本の議案等が提出され、その中でも最終日に提出された令和3年度長岡京市一般会計補正予算（第8号）では、十八歳以下への十万円相当の給付に関する内

容の補正である事から、全ての対象者の手元に一日でも早く給付が出来るように賛成させて頂きました。

その後、国会で十万円一括給付の進め方についての議論がなされ、自治体でも決められる事になり、本市でも十万円一括給付を実施するため議員了承のもと専決処分されました。公明党は、これまでに培ってきたネットワークにより国や府との連携を図り、議会において課題などを提起しながら実績を築いてきました。

これからも「市民に寄り添い小さな声に耳を傾け」豊かで暮らしやすい長岡京市を目指して参ります。

平成西山クラブ

12月定例会において、『公共施設の再編』市立スポーツセンターの体育館・長三小の建て替え、また同様に老朽化等の課題を抱えている長四小や、6月開業予定の『京都済生会病院』乙訓休日応急診療所の整備』等について質問しました。

本市は、昭和45年には人口5万人を超え、高度成長期の急速な人口流入により、学校施設や下水道等のインフラが整備されてきました。その後、徐々に少子高齢化、情報化、国

際化の波が訪れ、平成23年に8万市民を突破し、安定成長期を迎えました。これからの再編整備においてもニューノーマル時代にふさわしい安定した持続可能な社会づくり、環境への配慮、災害に対する備えが求められています。

折しも本市は今年、市政50周年を迎えます。次世代に繋ぐ地域社会はもはや市民の皆さんやNPO、民間企業力なくしては多様化する課題に対応できません。皆様と手を携えて「次なる豊かさ」を目指して取り組むことが重要だと考えています。

上村真造・白石多津子・田村直義

平成自民クラブ

新型コロナウイルスと新たな変異株対策等のため、ワクチン3回目接種や子育て世帯への臨時特別給付金等、コロナ対策の補正予算を審査し、賛成しました。市民生活や社会活動の回復は、時期を逸せず国や府と連携して進め、感染拡大防止との両立が求められます。

新型コロナウイルス危機を乗り越えた先に地域経済の活性化が望まれます。持続可能な地域経済の循環を目指すため、商工会や商店街が提案した(仮

称)中小企業振興条例の制定が待たれる中、今後の進め方等を尋ね、市長より「市民生活向上のため議論を尽くし、シンポジウム等により広く市民に周知する」と答弁を得ました。

環境共生のまちづくりに関して、西山森林の整備について質し、「現在は西山全体約四割の整備を終え、今後豊かな森を育てる府民税市町村交付金や森林環境譲与税を活用し、水源涵養や生物多様性に富んだ森林整備を進める」と答弁を得ました。

今後も市民の豊かな暮らしのため未来に向けたまちづくりを進めます。
八木 浩・中小路貴司・三木常照

日本共産党

党議員団は「なにより、いのち。ぶれずに、つらぬく。」姿勢で、6名全員が一般質問に取り組みました。国に対する意見書では「沖縄戦戦没者の遺骨をはじめ、遺骨が混入した土砂を国内の埋立てに使用しないことを求める意見書」が全会一致で可決。「核兵器禁止条約の早期の批准を求める意見書」は、賛成多数で可決されました。

阪急バスの3割減便方針は見直され、新たに6月から「230円均二

に値上げする方針が出されました。

日本共産党は、バス路線整備と一体で住宅が開発されてきた経過をふまえ、高齢者の外出保障、低所得者の生活保障の両面で、市も事業者も役割を果たすよう求めています。市は、高齢者の乗り放題バスや通学定期への補助を検討していると述べました。

コロナ対策では、党議員団が求めてきた、濃厚接触者として自宅待機をされている方に、食料品や生活物資の支援をおこなうことが実現できました。選挙権の保障では、バンビオでの期日前投票の実施日数が増やされる方向が示されました。(広)

「議会改革特別委員会」を設置しました

令和3年11月26日の本会議において、議会改革にかかわる調査及び研究を目的とした議会改革特別委員会が新たに設置されました。

12月13日に、議会運営委員会から申し送り事項となっていた項目などについて確認を行いました。次回は3月に開催予定です。



特別委員会委員名簿

委員長	田村	直義
副委員長	富田	達也
委員	西條	利洋
	小谷	宗太郎
	広垣	栄治
	小原	明大
	中村	歩
	大伴	壘
	福島	和人
	八木	浩